

第119期 報 告 書

平成28年4月 1 日から
平成29年3月31日まで



日本甜菜製糖株式会社

証券コード：2108

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社は去る3月31日をもって第119期(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)を終了いたしましたので、ここにその事業の概況等をご報告申し上げます。

平成29年6月

取締役社長 **中村 憲治**



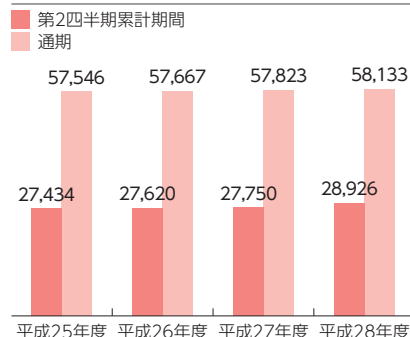
当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境に改善が見られ、景気は緩やかな回復基調が続いておりますが、個人消費への波及にはやや遅れが見られ、また、国際情勢は英国のEU離脱や米国新政権による政策の動向など不安定な要素があり、先行き不透明な状況が続いております。

砂糖業界におきましては、少子高齢化や消費者の低甘味嗜好に加え、安価な輸入加糖調製品や高甘味度人工甘味料の増加などから砂糖消費量は減少傾向にあり、厳しい状況が依然として続いておりますが、当連結会計年度においては、砂糖の販売価格の上昇により、売上、利益とも前連結会計年度を上回ることができました。

当連結会計年度の売上高は、前期比0.5%増の581億3300万円となり、経常利益は前期比12.2%増の25億1千800万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比11.1%増の15億1千300万円となりました。

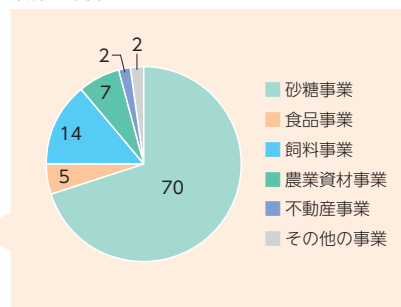
なお、平成28年8月の台風により当社清水紙筒工場ならびに清水バイオ工場の生産工程および設備、たな卸資産等が被害を受けたため、特別損失を4億2千300万円計上しております。また、受取保険金として特別利益に1億3千600万円計上しております。

売上高 (百万円)

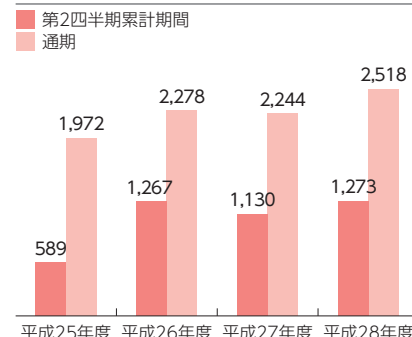


売上高構成比 (%)

平成28年度



経常利益 (百万円)



砂糖業界におきましては、少子高齢化や消費者の低甘味嗜好に加え、安価な輸入加糖調製品や高甘味度人工甘味料の増加などから砂糖消費量は減少傾向にあり、依然として厳しい状況が続いております。

また、一昨年10月5日に大筋合意され昨年2月4日に正式調印されたTPP(環太平洋経済連携協定)では、参加国であった米国が離脱を表明し、発効の目途が立たなくなりましたが、トランプ大統領は二国間の経済連携協定を模索しており、関連する動向等を引き続き注視する必要があります。

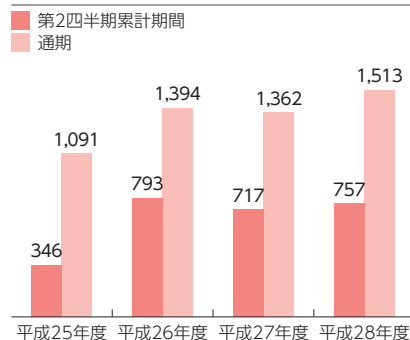
平成28年度の主産地十勝管内の気象状況は、5月の風害、6月から7月の異常低温と降雨による日照不足が続きました。8月末には相次ぐ台風の直撃や襲来により畑地流出、冠水が長期間にわたって発生しました。9月には長引く秋雨前線の影響により曇天が続き、その結果、原料甜菜は、生育不良、病害発生、登熟不振となり、原料集荷および製糖作

業においても難渋し、コスト上昇を招きました。今後は異常気象下における原料生産、集荷および砂糖製造面において更に創意工夫を重ね、全社一丸となってこの対策を検討する必要があります。

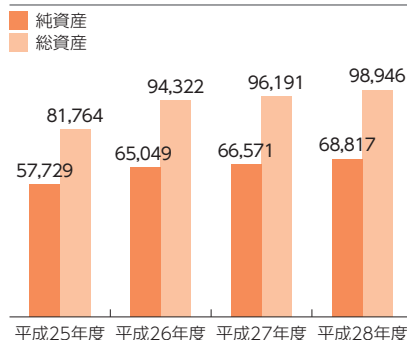
当社グループといたしましては、砂糖をはじめ各製品において、引き続きコスト削減を徹底するとともに、適正価格での販売に努め、収益力の確保、経営基盤の安定化を図ってまいります。

また、品質管理を徹底し、安全性および品質の更なる向上を図り、皆様に信頼される製品の提供に心がけてまいります。

親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益 (百万円)



純資産/総資産 (百万円)



「甜菜」は「ビート」とも呼ばれ日本では北海道だけで栽培されています。

セグメント別の概況

砂糖事業

事業内容 ビート糖、精糖、
ビート糖蜜、精糖蜜 等



■ ビート糖

甜菜を原料とした国産の砂糖です。



■ スティックシュガー

海外市況につきましては、ニューヨーク市場粗糖先物相場(当限)において1ポンド当たり期初15.18セントで始まり、10月には原油高やブラジル通貨レアル相場の上昇傾向、世界砂糖需給の供給不足感から23.81セントまで上昇しましたが、12月には主要生産国のブラジルの増産見込、レアル安により18.03セントまで下落しました。その後、主要生産国のブラジル、タイの増産見通し、更に2017～2018年度世界砂糖需給が3年ぶりに供給過剰に転じる見通し等から相場は下落し、16.76セントで当期を終えました。

一方、国内市況につきましては、期初187～188円(東京精糖上白現物相場、キログラム当たり)で始まり、海外相場の変動を受け、10月には5円上昇し192～193円になり、更に2月には3円上昇し195～196円となり、そのまま当期を終えました。

ビート糖は、白糖の販売量は前期並となりましたが、原料糖は生産減少に伴う販売量の減少があり、前期を下回ったものの、売上高は販売価格の上昇があり、前期並となりました。

精糖は、業務用、家庭用小袋とも販売量が前期を下回りましたが、売上高は販売価格の上昇があり、前期並となりました。

砂糖事業の売上高は、404億3千7百万円(前期比1.8%増)となり、営業利益は砂糖販売価格の上昇に加え、コスト低減に努めたことにより、5億1千8百万円(前期比368.1%増)となりました。

食品事業

事業内容 イースト、オリゴ糖等機能性食品
(ラフィノース、ベタイン、DFAⅢ 等)、
その他食品



■ とちの酵母
北海道十勝産のインスタント
ドライイーストです。



■ ビートオリゴ
甜菜から抽出した天然のオリゴ糖です。

イーストは、昨年8月に北海道を襲った台風の影響で、一時的に生産を停止したことにより、販売量、売上高とも前期を下回りました。

オリゴ糖等機能性食品は、オリゴ糖の販売量が増加し、売上高は前期を上回りました。

食品事業の売上高は、26億6千8百万円(前期比0.7%増)となり、営業利益は2億8千1百万円(前期比11.3%減)となりました。

飼料事業

事業内容 | 配合飼料、
ビートパルプ等



■機能性飼料
カルシウムの吸収を促すオリゴ糖(DFAⅢ)を配合した飼料です。

配合飼料は、販売量は増加しましたが、販売価格の下落により、売上高は前期を下回りました。
ビートパルプは、原料甜菜の不作により生産量が減少したため、売上高は前期を下回りました。
飼料事業の売上高は、82億2千万円(前期比5.3%減)となり、営業利益は1億3千5百万円(前期比42.8%減)となりました。

農業資材事業

事業内容 | 紙筒(ペーパーポット®)、
農業機材、調整泥炭、甜菜種子等



■紙筒(ペーパーポット)
当社が開発した紙製の育苗鉢です。
効率的な苗作り、移植栽培に役立ちます。

紙筒(移植栽培用育苗鉢 商標名 ペーパーポット)は、主にそ菜用の販売数量の増加により、売上高は前期を上回りました。
農業機材は、移植機関連の販売減少等により、売上高は前期を下回りました。
農業資材事業の売上高は、41億4千6百万円(前期比0.3%増)となり、営業利益は3億円(前期比19.3%減)となりました。

不動産事業

事業内容 | 不動産賃貸等



■ニッテン三田ビル

不動産事業は、売上高、営業利益とも前期並となりました。
不動産事業の売上高は、13億5千1百万円(前期比0.1%減)となり、営業利益は8億5千3百万円(前期比1.3%減)となりました。

その他の事業

事業内容 | 貨物輸送、石油類販売、
書籍販売、スポーツ施設営業等



■帯広西SS
(スズラン企業株式会社)

その他の事業は、石油類の販売価格の上昇により売上高が増加したものの、原料甜菜の不作等により貨物輸送等が減少しました。
その他の事業の売上高は13億7百万円(前期比0.5%増)となりましたが、営業利益は5千6百万円(前期比58.3%減)となりました。

財務情報

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当期末 平成29年3月31日現在	前期末 平成28年3月31日現在
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,182	3,952
受取手形及び売掛金	6,825	6,908
有価証券	10,000	7,500
商品及び製品	22,315	23,353
仕掛品	619	1,993
原材料及び貯蔵品	2,396	2,089
繰延税金資産	477	429
未収入金	900	581
その他	155	194
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	47,870	46,999
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,922	11,080
機械装置及び運搬具	5,342	5,889
土地	5,541	5,544
リース資産	34	38
建設仮勘定	722	116
その他	180	178
有形固定資産合計	22,744	22,846
無形固定資産	113	139
投資その他の資産		
投資有価証券	27,001	25,174
長期貸付金	107	153
退職給付に係る資産	985	762
その他	128	121
貸倒引当金	△5	△6
投資その他の資産合計	28,217	26,204
固定資産合計	51,075	49,191
資産合計	98,946	96,191
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	958	1,343
短期借入金	9,798	9,798
未払法人税等	401	486
災害損失引当金	199	—
その他	5,682	5,220
流動負債合計	17,039	16,848
固定負債		
長期借入金	227	279
繰延税金負債	5,505	4,869
役員退職慰労引当金	11	23
退職給付に係る負債	4,819	4,937
資産除去債務	23	23
長期預り保証金	1,237	1,313
その他	1,263	1,322
固定負債合計	13,089	12,770
負債合計	30,129	29,619
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,279	8,279
資本剰余金	8,404	8,404
利益剰余金	41,392	40,585
自己株式	△2,455	△2,497
株主資本合計	55,620	54,772
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,085	11,850
繰延ヘッジ損益	△1	△3
退職給付に係る調整累計額	112	△47
その他の包括利益累計額合計	13,196	11,799
純資産合計	68,817	66,571
負債及び純資産合計	98,946	96,191

連結損益計算書

(単位：百万円)

	当期 平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで	前期 平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで
売上高	58,133	57,823
売上原価	41,948	42,189
売上総利益	16,184	15,634
販売費及び一般管理費	14,005	13,622
営業利益	2,178	2,011
営業外収益		
受取利息及び配当金	426	338
持分法による投資利益	42	45
その他	126	68
営業外収益合計	594	452
営業外費用		
支払利息	104	116
固定資産処分損	124	73
その他	26	29
営業外費用合計	255	219
経常利益	2,518	2,244
特別利益		
固定資産売却益	18	—
受取保険金	136	—
特別利益合計	155	—
特別損失		
固定資産処分損	53	44
災害による損失	423	—
投資有価証券売却損	—	8
たな卸資産処分損	—	26
その他	1	0
特別損失合計	479	80
税金等調整前当期純利益	2,194	2,164
法人税、住民税及び事業税	709	755
法人税等調整額	△28	46
法人税等合計額	680	801
当期純利益	1,513	1,362
親会社株主に帰属する当期純利益	1,513	1,362

設備投資の状況

当連結会計年度中に実施した設備投資の総額は2,275百万円であります。

会社概要・株式情報

(平成29年3月31日現在)

会社概要

商 号	にっぽんでんさいせいとうかぶしきかいしゃ 日本甜菜製糖株式会社	
本社所在地	東京都港区三田三丁目12番14号	
設 立	大正8年6月	
資 本 金	82億7,941万4,800円	
従業員の状況	企業集団の従業員数 当社の従業員数	695名 568名 ※上記には臨時従業員は含まれておりません。
子 会 社	名 称	事業内容
	十勝鉄道株式会社	貨物自動車運送業
	スズラン企業株式会社	石油類・書籍販売およびスポーツ施設営業等
	ニッテン商事株式会社	食品卸売業
	サークル機工株式会社	農業用機械器具の製造販売
	士別スズランファーム株式会社	農業生産法人

役員

(平成29年6月29日現在)

代 表 取 締 役 会 長	小笠原 昭男
代 表 取 締 役 社 長	中村 憲治
常 務 取 締 役	佐藤 和彦
常 務 取 締 役	恵本 司
取 締 役	川島 啓
取 締 役	鈴木 良幸
取 締 役	佐渡谷 裕朗
取 締 役	八巻 唯史
取 締 役	木山 邦樹
取 締 役	前田 孝幸
取 締 役	石栗 秀
取 締 役(社外)	浅羽 茂
常 勤 監 査 役	森山 英二
常 勤 監 査 役	沖 有康
監 査 役(社外)	二村 孝文
監 査 役(社外)	村山 泰之

株式の状況

発 行 可 能 株 式 総 数	20,000,000株
発 行 済 株 式 の 総 数	15,325,642株
株 主 数	12,833名

大株主

株主名	持株数	持株比率
明治ホールディングス株式会社	1,470千株	10.37%
ニッテン共栄会	806	5.69
株式会社みずほ銀行	705	4.97
農林中央金庫	514	3.63
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	507	3.58
東京海上日動火災保険株式会社	428	3.02
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	355	2.51
日本通運株式会社	320	2.26
三菱商事株式会社	265	1.87
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	253	1.79

(注) 1. 当社は自己株式1,143,035株を所有しておりますが、上記大株主の記載からは除外しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して算出しております。



芽室製糖所(北海道芽室町)

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.nitten.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。)
上場証券取引所	東京証券取引所
単元株式数	100株
株主名簿管理人 (特別口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-7111【通話料】 【無料】

株式に関する マイナンバーお届出のご案内

平成28年1月から、社会保障、税、災害対策の行政手続きにおいてマイナンバーの利用が開始されています。

株式等の税務関係の手続きでもマイナンバーが必要となります。

マイナンバーを記載する主な支払調書

- 配当金等に関する支払調書
- 単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

マイナンバーのお届けに関するお問い合わせは下記の〈株式に関するお問い合わせ先〉にお問い合わせください。

〈株式に関するお問い合わせ先〉

当社株式を証券会社等の口座にお預けの場合 ➡ お取引の証券会社等にお問い合わせください。

当社株式を証券会社等の口座にお預けでない
(特別口座に記録された)場合 ➡ 三菱UFJ信託銀行株式会社(特別口座管理機関)に
お問い合わせください。

連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
0120-232-7111【通話料】
【無料】

- ◆特別口座では、単元株の売買ができないなど、お取引に一定の制限があります。株式を特別口座から証券会社等に開設された株主様の口座へ振替えされること(口座振替)をおすすめします。お手続きの詳細につきましては、三菱UFJ信託銀行証券代行部にお問い合わせください。
- ◆特別口座に記録された株主様の住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式の買取・買増、口座振替に必要な各用紙のご請求は、三菱UFJ信託銀行証券代行部のフリーダイヤル0120-244-479(24時間・自動音声対応)をご利用ください。

※未受領の配当金、端数株式処分代金につきましては、三菱UFJ信託銀行の本店でお支払いいたします。

日本甜菜製糖株式会社

ホームページ <http://www.nitten.co.jp>

UD
FONT

